

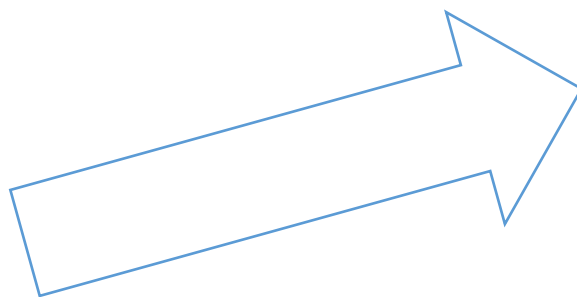
令和5年度

# 熊本県小学校国語教育研究会国語部会

## 研究理論提案

令和5年5月13日（土）

今を生きる子どもたちが成人して社会で活躍する頃...



# 社会構造の変化によって直面する課題

『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』

中央教育審議会

「自ら課題を見つけ、それを解決する力」

を育成するため、

他者と協働し自ら考え抜く学び

が十分でない

# 1 これからの社会に求められる力

## 次代を切り拓く子どもたちに求められる 資質・能力

○文章の意味を**正確に理解する**読解力

○教科固有の**見方・考え方を働かせて自分の頭で  
考えて表現する**力

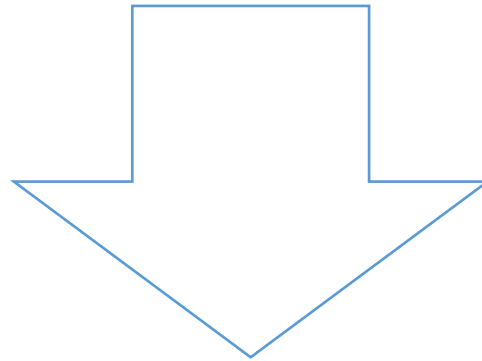
○**対話や協働**を通じて知識やアイデアを共有し  
**新しい解や納得解を生み出す**力

1 これからの社会に求められる力  
これらの資質・能力を育む手立て

○個別最適な学び

○協働的な学び

充実を図る



見方・考え方を  
働かせる

主体的・対話的で深い学びの実現

## 2 求められる国語科の力

「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」

学びに向かう力  
人間性等

言葉による見方・考え方

知識及び技能

思考力・表現力・判断力等

# 「言葉による見方・考え方」を働かせる授業

## 国語科における学び

子供が既有知識・経験を交流しながらを学習に生かす



- 言葉の意味を吟味し、解釈を広げ・深める
- 言葉を活用する力を高める
- 新たな語彙の獲得
- 言葉の意味を捉えなおす

子供が学びを自覚し、問いをもちながら主体的に学ぶ



「言葉による見方・考え方」が働き、  
個々が有する「見方・考え方」が更新される

生きて働く言葉の力 未来を生きる子どもに必要な力

未来を拓く言葉の力を培う

国語科学習の創造

～学びを自覚し、共に更新し続ける子供の育成～



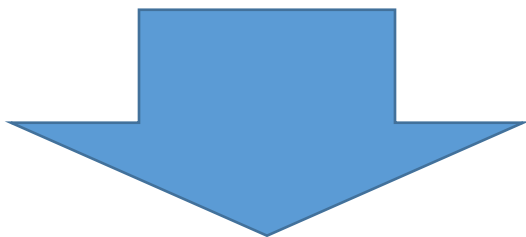
### 3 研究の視点

視点1 【学びを自覚するための手立て】

視点2 【共に更新するための工夫】

## 視点1 【学びを自覚するための手立て】

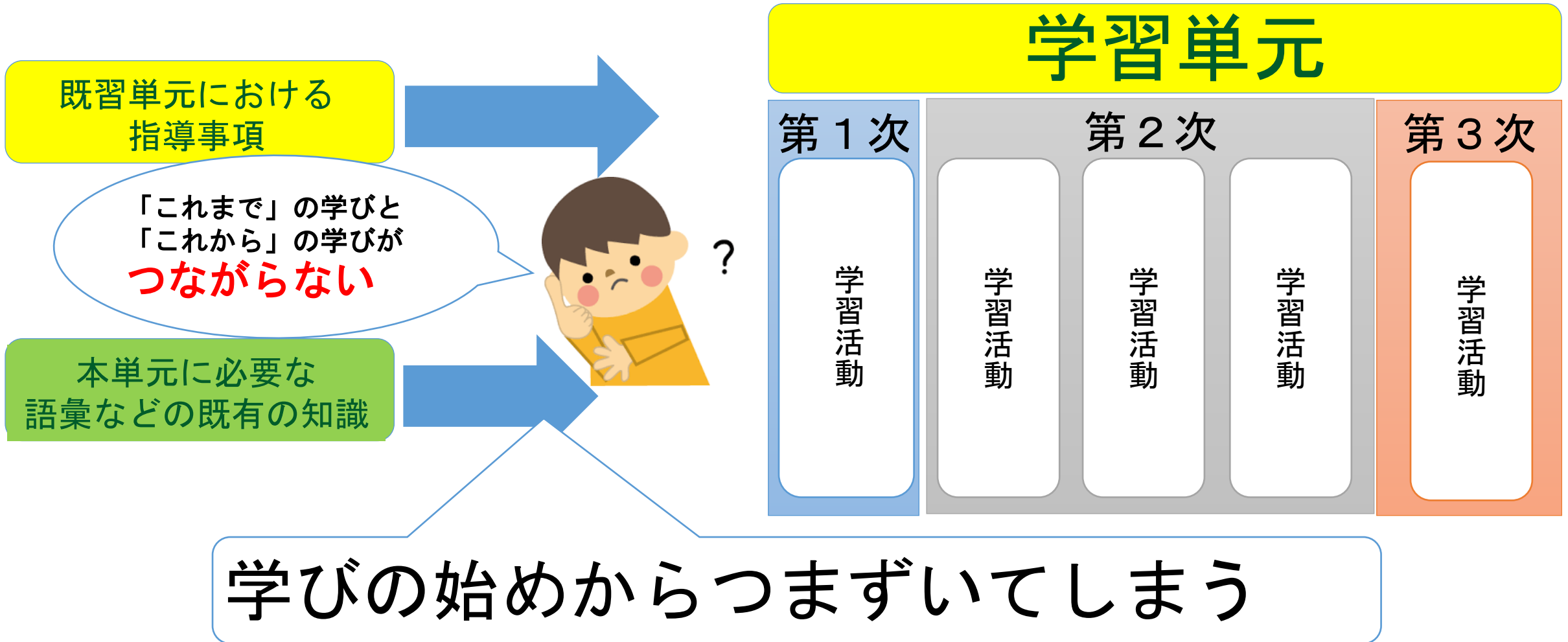
○子どもが自らの学びを自覚し、調整しながら粘り強く学習課題に取り組むことで、主体的な学びが生まれる



- (1) 学びの土台をつくる導入
- (2) 学びの指針となる学習課題
- (3) 立ち止まって振り返る場

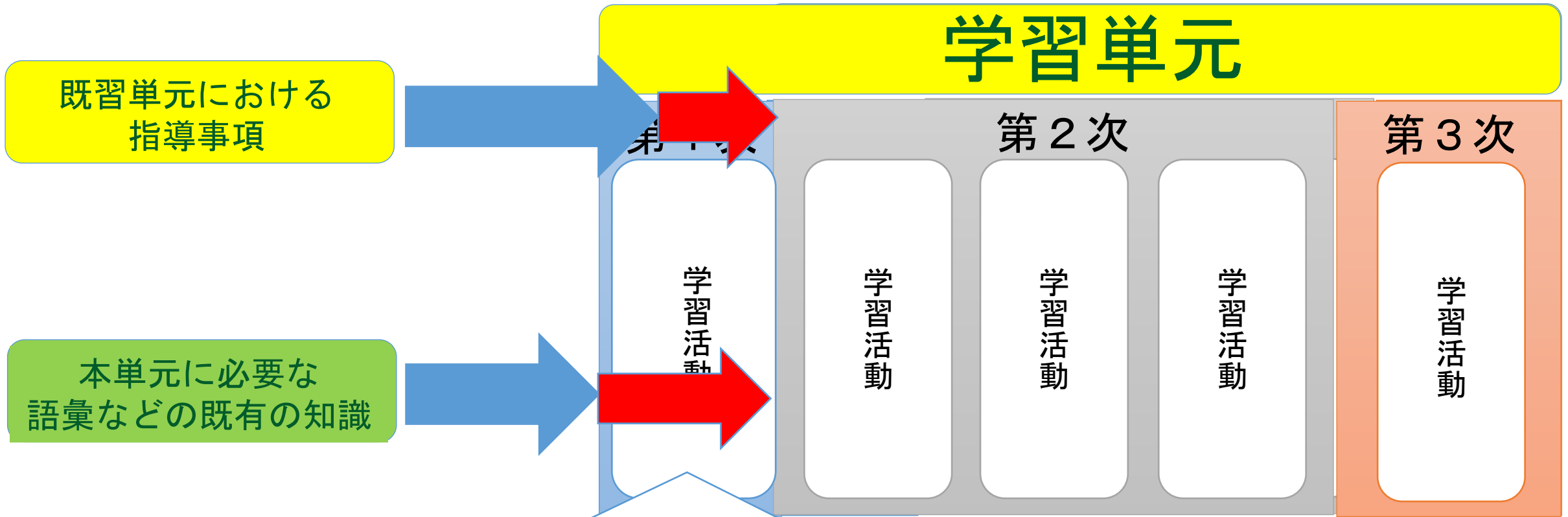
# 視点1【学びを自覚するための手立て】

## (1) 学びの土台をつくる導入の設定



# 視点1【学びを自覚するための手立て】

## (1) 学びの土台をつくる導入の設定



第1次で学びを始める土台をつくる

# 視点1【学びを自覚するための手立て】

## (1) 学びの土台をつくる導入の設定

例えば・・・ 「風切るつばさ」 東京書籍 6年

そうですね、言葉や行動から、人物の気持ちや考えが読み取れましたね

ごんは優しく、大造じいさんは、残雪をライバルのように尊敬していた。



人物像を読み取るために必要な  
キーワードを具体を通して想起



# 視点1【学びを自覚するための手立て】

## (1) 学びの土台をつくる導入の設定

他にも・・・



絵本の読み聞かせ



学習の記録の振り返り

## 視点1 【学びを自覚するための手立て】

### (2) 学びの指針となる『学習課題』

「言葉の力」：本単元における指導事項を単元に  
合わせて焦点化したもの

「言語活動」：学習課題を達成するための言語活動

# 視点1 【学びを自覚するための手立て】

## (2) 学びの指針となる『学習課題』

### 学習課題

「町の幸福論」の視点を活かし、資料を活用して自分の考えが伝わるように表現を工夫して、秋津の幸福な未来について町に提言しよう

### 本単元で身につけさせたい言葉の力

資料を活用する意図を明確にして、自分の考えが伝わるように表現をくふうする力

本単元における  
指導事項を単元  
に合わせて焦点  
化したもの

### 言語活動

秋津の幸福な未来について考え、町づくりセンター職員の方に提言する。

6年 国語 東京書籍

「町の幸福論」

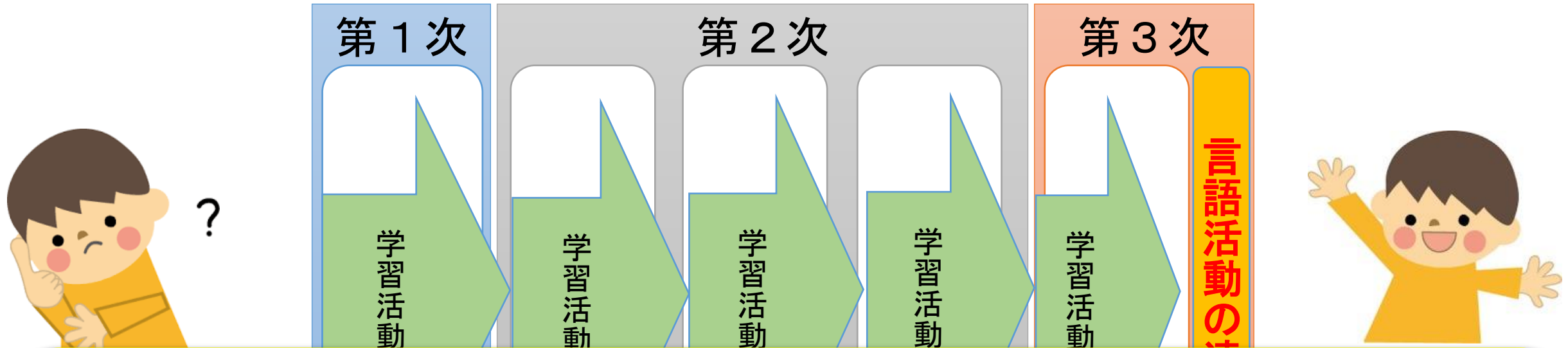
コミュニティデザインを考える

学習課題を達成す  
るための言語活動



# 視点1【学びを自覚するための手立て】

## (2) 学びの指針となる『学習課題』



# 学習課題の解決

# 視点1【学びを自覚するための手立て】

## (3) 立ち止まって振り返る場

あれ、このままだと課題の  
解決と結びつかないよ。  
〇〇の部分について、もう  
少しみんなで考えたいな。

を図で比べて考、わか

プレゼン大会に向けて、  
〇〇〇のところをもっと詳  
しくしたらどうだろうか...



ふり返りの3つの観点

### ①今日の学び

分かったこと、考えが変わったこと

### ②学びをつなげて（友達・学習と）

友達の〇〇という意見で、  
今日の〇〇は、前の学習の△△に

### ③新たな疑問

今日の学びから生まれた疑問

☆プレゼン大会に生かせる学び☆

「筆者の伝えたいこと」「伝え方」

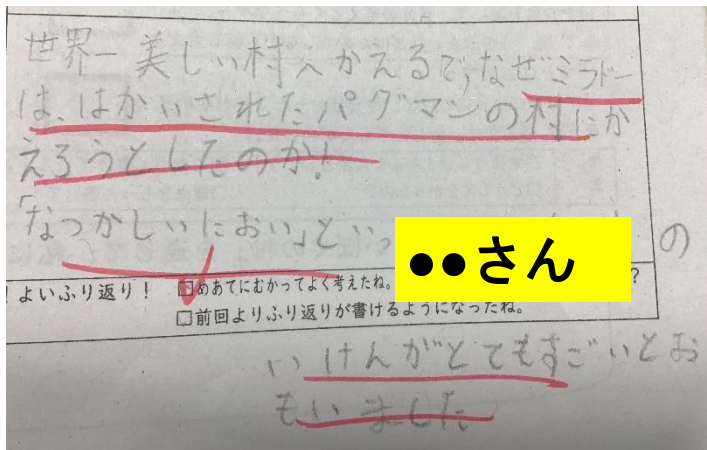
振り返りの観点の提示

# 視点1【学びを自覚するための手立て】

## (3) 立ち止まって振り返る場

### 授業の中で振り返りを活用する

なぜ、のぶよは「けんじ」だけとか言わなかったと言うと、「けんじ」だけじゃなかったら、けんじの頭の中が、余計にぐちゃぐちゃになると思うから、「けんじ」だけしか言わなかったと思います。どうしていちいちお母さんにこだわるのか知りたいです。あと、水飲み場でけんじは、泣いていたのか知りたいです。



昨日と今日の  
勉強がここで  
つながってるな!

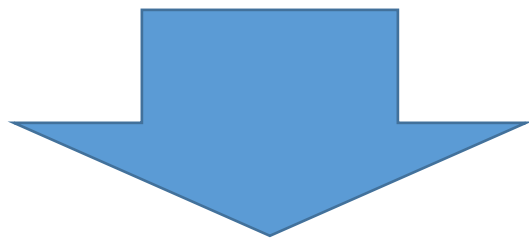
わたしのいいところ  
を認めてくれて嬉しいな!

自分の問い  
の解決に活  
かせる!



## 視点2 【共に更新するための工夫】

子どもが見方・考え方を働かせながら相互に作用することで、自らの見方・考え方を更新していく深い学びが生まれる

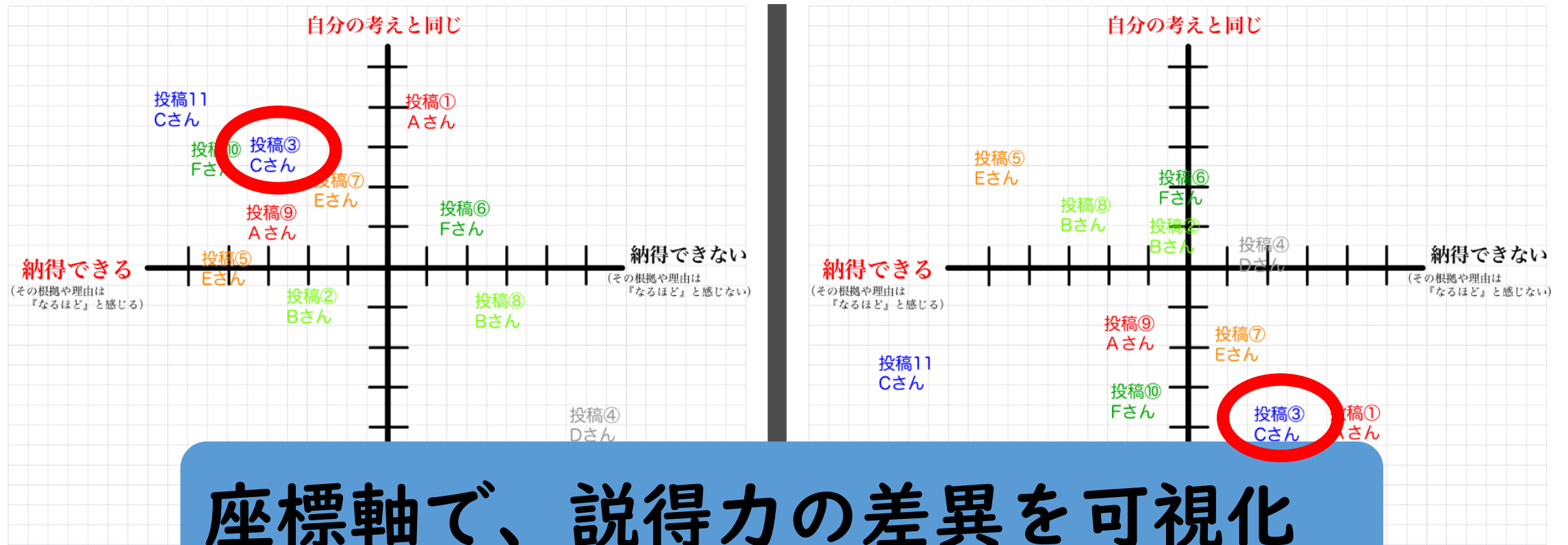


- (1) 考えを表出し、比較する場
- (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

# 視点2 【共に更新するための工夫】

## (1) 考えを表出し、比較する場

例えば・・・ 「インターネットの投稿を読み比べよう」 東京書籍 6年

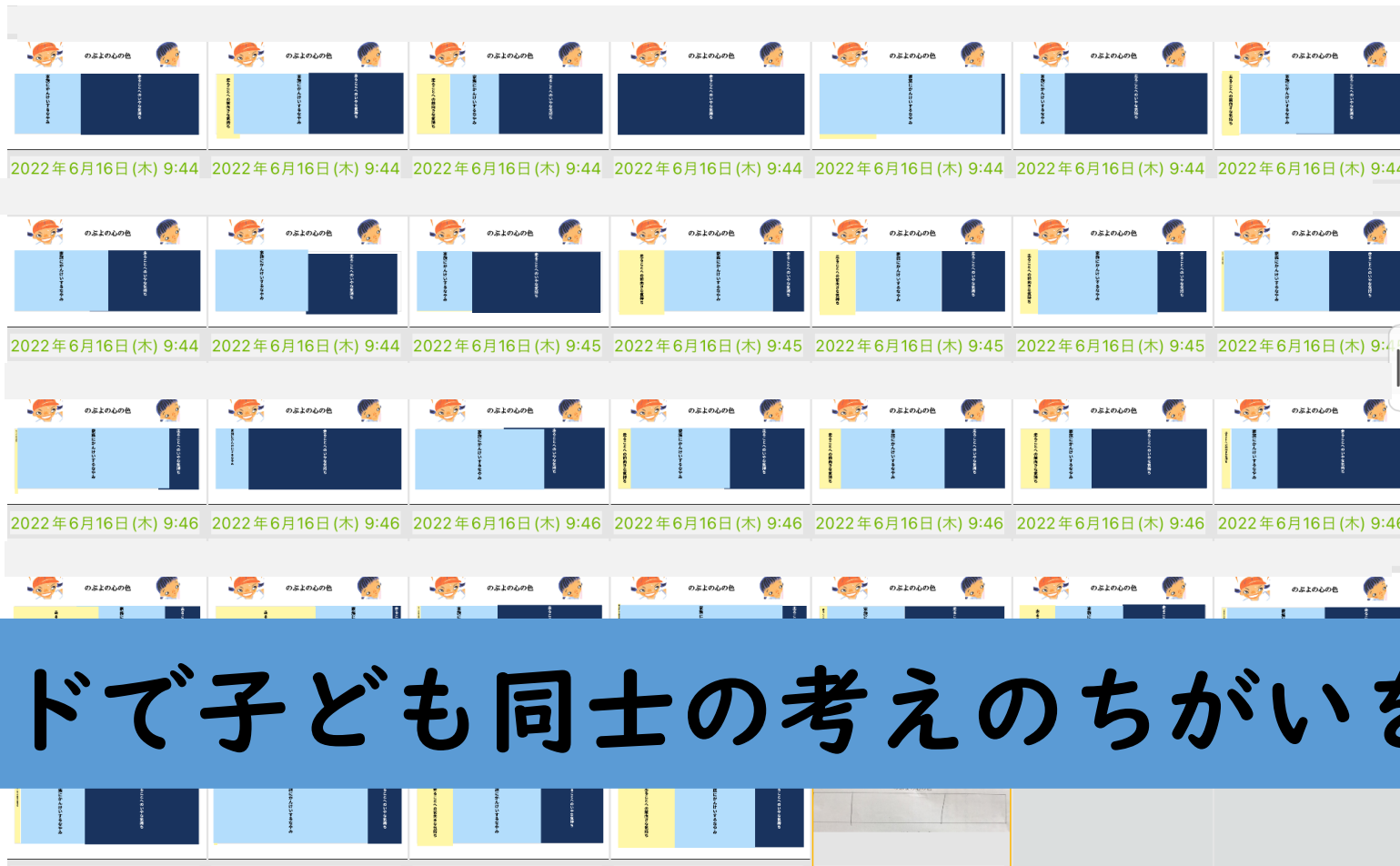


座標軸で、説得力の差異を可視化

# 視点2 【共に更新するための工夫】

## (1) 考えを表出し、比較する場

例えば・・・ 「走れ」 東京書籍 4年上



色カードで子ども同士の考えのちがいを可視化

## 視点2 【共に更新するための工夫】

### (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

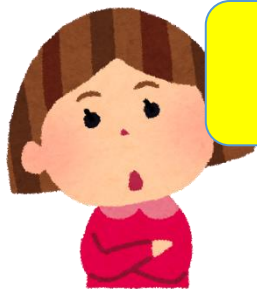
#### 3年下「モチモチの木」 東京書籍

豆太はどうして医者様を  
呼びに行けたのでしょうか。



なんでそう思ったのかなあ...

豆太はじさまが大好き  
だったからだと思います。



根拠や理由づけがないため、説得力がない



## 視点2 【共に更新するための工夫】

### (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

3年下「モチモチの木」 東京書籍

問い返し

みなさんにも、  
その怖さを感じた経験がありますか？



ああ、確かに！  
豆太は、そんな気持ち  
だったのか・・・



あります。家でひとりで留守番をしていて、約束の夕方になってもお父さんが帰ってこなかったとき、もしお父さんに何かあったらどうしようと考えて、とってもこわくなりました。



根拠や理由づけを充実させることで、納得解が生まれる



## 視点2 【共に更新するための工夫】

### (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

3年下「モチモチの木」 東京書籍

根拠に戻る

では、本文に戻って考えてみましょう。



でも5歳の子が「真夜中」の山道を「半道(2km)」も「足から血」を出しながらって...私なら無理だと思うな...



たしかに。豆太は、よっぽどじさまが大好きで、どうしても助けたい！って強くおもったんだろうね。



根拠をもとにさらに検討することで、学びが深まる

6年【(話すこと・聞くこと)】

秋津の幸福な未来をえがき、町に提言しよう「町の幸福論ーコミュニティデザインを考える」  
指導者 中里 宏 (熊本市立秋津小学校)

視点1 学びを自覚するための手立て

視点2 共に更新するための工夫

学びの土台

町づくりセンターからのプレゼンを聞き、秋津で行われている町づくりの現状と課題を知ると同時に、自分の提言が必要とされていることを実感する。

本単元で身に付けさせたい言葉の力

資料を活用する意図を明確にして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力

言語活動

秋津の幸福な未来について考え、町づくりセンター職員の方に提言する

学習課題

自分の考えが伝わるよう資料と表現を工夫して、秋津の幸福な未来について町に提言しよう

<立ち止まって振り返る場>

レーダーチャートの視点で、前時に作成した資料を振り返り、伝えたいことを伝えるのに最適な資料が再考する。

<考えを表出し比較する場>

プレゼン資料をレーダーチャートで分析することで、友達との考えの違いが分かるようにして、友達の意見を聞きたいと感じられるようにする。

言葉による  
見方・考え方を  
働かせる

<納得解を生み出す根拠や理由づけの充実>

伝えたいことが伝わる意図通りの資料かどうかを、レーダーチャートの各項目の数値を根拠として、その理由について話し合うことで納得して資料を選択したり作成したりできるようにする。

単元終了時の子供の姿

今後の学校生活や様々な場面で、資料を活用して自分の考えを伝える際には、資料は伝えたいことに最適なものなのか立ち止まって考え、より良い表現を求めて工夫できる子供。

単元

本時

# 視点1【学びの自覚】

言葉による  
見方・考え方を  
働かせる

# 視点2【共に更新】

他教科や生活の中で生かせる未来を拓く言葉の力を獲得し、  
自らの生き方を更新し続ける子ども

# 未来を拓く言葉の力を培う

## 国語科学習の創造

～学びを自覚し、共に更新し続ける子供の育成～

### 視点1 【学びを自覚するための手立て】

- (1) 学びの土台をつくる導入
- (2) 学びの指針となる学習課題
- (3) 立ち止まって振り返る場

### 視点2 【共に更新するための工夫】

- (1) 考えを表出し、比較する場
- (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実